

地域ねこ活動モデル事業について

愛知県動物保護管理センター

ケース 1 (A市A公園)

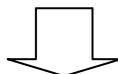
経緯

A公園の所有者のいないねこについて、餌やり・保護等を個人で行ってきたA氏より、センターに相談があったことから、センターはモデル事業の実施に向け、A氏及びA市と調整した。

実施計画(予定)

○ 活動を実践するひと … (A公園住民1名)	<ul style="list-style-type: none">① 所有者のいないねこの生息状況の把握 A公園内のねこの生息場所、毛色及び雌雄等の特徴をリストにして周辺地域に回覧し、所有者がないことの確認を行った後、センター、市役所に報告する。② 所有者のいないねこの給餌及びトイレの管理 給餌場所、時間及び給餌後の清掃方法並びにトイレの設置場所を決め、定期的に清掃する。③ 地域のパトロール ねこを遺棄されないよう定期的に地域を巡回する。
○ 活動を支援、協力 … 行政機関 (A市) (動物保護管理センター)	<p>A公園での活動の承認並びに周辺住民に、飼いねこの適正飼養及び公園におけるモデル事業に関する啓発を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none">① 所有者のいないねこの不妊去勢手術 動物愛護ボランティア団体が搬入したねこに対し、不妊去勢手術を実施し、地域ねことしてのマーキング(みは右耳、♀は左耳の先端をV字カット)を行う。② モデル事業の効果検証 A公園内で把握されている所有者のいないねこの不妊去勢手術を実施した後、周辺地区住民に対し、アンケートによりモデル事業の効果进行调查する。
動物愛護ボランティア団体	<ul style="list-style-type: none">① 地域ねこ活動の助言 所有者のいないねこへの給餌及びトイレ管理の実施者に対し、地域ねこ活動の実施方法を助言する。② 所有者のいないねこの保護及び放獣 所有者のいないねこを保護し、センターへ搬入し、センターでの不妊去勢手術実施後に元の場所へ放獣する。
○ 活動対象 活動場所 … 対象ねこの数など … 餌やりさんの存在 …	A公園 地域に約50匹生息 A氏以外は不明

経過・状況



実施計画のとおり、活動家、市役所、動物愛護ボランティア団体及びセンターの4者が主体となり協力して活動を実施することを目標とした。

しかし、餌やり等の飼育管理方法や、他の公園に活動希望が出た場合の対応などについて調整がつかず、実施に至らなかった。

ケース 2 (B市B地区)

経緯

B地区自治会長が地域ねこ活動の実施について、動物愛護ボランティア団体を通じセンターに相談したことから、センターはモデル事業の実施に向け、B市、B地区自治会長、動物愛護ボランティア団体と調整し実施した。

実施計画

○ 活動を実践するひと … (B地区自治会) (B地区住民)	<ul style="list-style-type: none">① 地域住民に対する飼いねこの適正飼養の啓発 飼いねこに首輪等の所有者明示を行い、屋内飼養するよう回覧板による啓発を実施する。② 所有者のいないねこの生息状況の把握 所有者のいないと思われるねこの生息場所、毛色及び雌雄等の特徴をリストにして自治区民館に掲示し、所有者がいないことの確認を行った後、動物ボランティアに報告する。③ 所有者のいないねこの給餌及びトイレの管理 給餌する場所を決め、給餌及び給餌後の清掃をする住民を選定する。トイレを設置する場所を決め清掃する住民を選定する。④ 地域のパトロール ねこを遺棄されないよう定期的に地域を巡回する。
○ 活動を支援、協力 … 行政機関 (B市) (動物保護管理センター)	<p>B地区からの求めに応じて、飼いねこの適正飼養及びモデル事業に関する啓発を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none">① 所有者のいないねこの不妊去勢手術 動物愛護ボランティア団体が搬入したねこに対し、不妊去勢手術を実施し、地域ねことしてのマーキング(右耳先端をV字カット)を行う。② モデル事業の効果検証 B地区内で把握されている所有者のいないねこの不妊去勢手術を実施した後、同自治区住民に対し、アンケートによりモデル事業の効果进行调查する。
動物愛護ボランティア団体	<ul style="list-style-type: none">① 地域ねこ活動の助言 所有者のいないねこへの給餌者及びトイレ管理の実施者に対し、地域ねこ活動の実施方法を助言する。② 所有者のいないねこの保護及び放獣 所有者のいないねこを保護し、センターへ搬入し、センターでの不妊去勢手術実施後に元の場所へ放獣する。
○ 活動対象 活動場所 … 対象ねこの数など … 餌やりさんの存在 …	<p>B地区(約2,500世帯) 正確には不明(50匹程度と推測) 不明</p>

経過・状況

地区内の公園、協力者敷地などに17カ所の給餌場所とトイレを設置し、ねこを管理した。
不妊・去勢手術は、当初の見込み頭数より多い69匹に対し実施した(地元獣医師による手術を含む)。計画を進める段階で当該地域のねこの生息数の事前調査が不十分であったため、活動によりねこの数や迷惑件数がどのように変化したのか、効果を正確に検証することはできなかった。
しかし、効果の検証の一つとして地元住民にアンケート調査を行ったところ、ねこに迷惑を感じていた住民の95%が糞や鳴声、ゴミを荒らすなどの行為が減り効果があったと回答した。また、地域ねこ活動については良いことであると全員が回答し、82%が活動に協力していきたいと答えており、活動の効果があったと考えられる。

ケース3 (C市C公園)

経緯

C市からC公園における地域ねこ活動の実施についてセンターに相談があったため、センターはモデル事業の実施に向け、C市、C公園周辺の自治会と調整し実施した。

実施計画

○ 活動を実践するひと …
(C地区自治会)

- ① 地域住民に対する飼いねこの適正飼養の啓発
飼いねこに首輪等の所有者明示を行い、屋内飼養するよう回覧板による啓発を実施する。
- ② 所有者のいないねこの給餌及びトイレの管理
給餌する場所を決め、給餌及び給餌後の清掃をする役員を選定する。トイレを設置する場所を決め、トイレを清掃する役員を選定する。
- ③ 所有者のいないねこの保護
所有者のいないねこを保護し、市役所に搬入する。
- ④ 地域のパトロール
ねこを遺棄されないよう定期的に地域を巡回する。

○ 活動を支援、協力 …
行政機関
(C市)

- ① 地域住民に対する啓発
飼いねこの適正飼養及びモデル事業に関する啓発を実施する。
- ② 所有者のいないねこの生息状況の把握
C公園内のねこの生息場所、体色及び雌雄等の特徴をリストにし、自治区民館に掲示及び回覧により所有者がないことの確認を行った後、センターに報告する。

(動物保護管理センター)

- ① 所有者のいないねこの不妊去勢手術、放獣
市役所から搬入したねこに対し、不妊去勢手術を実施し、地域ねことしてのマーキング(♂は右耳、♀は左耳先端をV字カット)を行い、元の場所へ放獣する。
- ② モデル事業の効果検証
C地区内で把握されている所有者のいないねこの不妊去勢手術を実施した後、同地区住民に対し、アンケートによりモデル事業の効果を調査する。

動物愛護ボランティア団体

- ① 地域ねこ活動への助言
C地区自治会に対し、所有者のいないねこへの給餌、清掃、トイレ管理、保護方法等について説明し助言する。

○ 活動対象

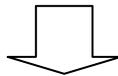
活動場所 …

対象ねこの数など …

餌やりさんの存在 …

C公園 (C公園周辺約900世帯)
地域に約35匹生息
不明

経過・状況



C公園内に2カ所の給餌場所とトイレを設置し、ねこを管理した。

不妊・去勢手術は、31匹に対し実施した。

実施後に地元住民にアンケート調査を行ったところ、ねこに迷惑を感じていた住民の4割以上が糞や鳴声などの行為が減り、効果があったと回答し、地域ねこ活動については良いことであると半数以上が回答した。

なお、1割の住民は地域ねこ活動に協力していきたいと回答し、今後は、独自に活動が続けることとしている。

ケース4 (D市、D地区)

経緯

D地区自治会長が地域ねこ活動の実施について、動物愛護ボランティア団体を通じセンターに相談したことから、センターはモデル事業の実施に向け、D市、D地区自治会長、動物愛護ボランティア団体と調整し実施した。

実施計画

○ 活動を実践するひと … (D地区自治会) (D地区住民)	① 地域住民に対する飼いねこの適正飼養の啓発 飼いねこに首輪等の所有者明示を行い、屋内飼養するよう回覧板による啓発を実施する。 ② 所有者のいないねこの生息状況の把握 所有者のいないと思われるねこの生息場所、毛色及び雌雄等の特徴をリストにして自治区民館に掲示し、所有者がいないことの確認を行った後、動物ボランティアに報告する。 ③ 所有者のいないねこの給餌及びトイレの管理 給餌する場所を決め、給餌及び給餌後の清掃をする住民を選定する。トイレを設置する場所を決め清掃する住民を選定する。 ④ 地域のパトロール ねこを遺棄されないよう定期的に地域を巡回する。
○ 活動を支援、協力 … 行政機関 (D市) (動物保護管理センター)	D地区において、説明会の実施協力及び飼いねこの適正飼養及びモデル事業に関する啓発を実施する。 ① 所有者のいないねこの不妊去勢手術 動物愛護ボランティア団体が搬入したねこに対し、不妊去勢手術を実施し、地域ねことしてのマーキング(右耳先端をV字カット)を行う。 ② モデル事業の効果検証 D地区内で把握されている所有者のいないねこの不妊去勢手術を実施した後、同自治区住民に対し、アンケートによりモデル事業の効果を調査する。
動物愛護ボランティア団体	① 地域ねこ活動の助言 所有者のいないねこへの給餌者及びトイレ管理の実施者に対し、地域ねこ活動の実施方法を助言する。 ② 所有者のいないねこの保護及び放獣 所有者のいないねこを保護し、センターへ搬入し、センターでの不妊去勢手術実施後に元の場所へ放獣する。
○ 活動対象 活動場所 … 対象ねこの数など … 餌やりさんの存在 …	D地区(約6,500世帯) 地域に約50匹生息 不明

経過・状況

地区内に24カ所の給餌場所とトイレを設置し、ねこを管理した。
市も関与し地域における生息状況の調査が効果的に行われ、地区住民の理解が広がり実施区域が拡大したため、不妊・去勢手術は、最終的に当初の見込み頭数より多い120匹に行った。
地元住民にアンケート調査を行ったところ、ねこに迷惑を感じていた住民の66%が糞や鳴声やゴミを荒らすなどの行為が減り効果があったと回答し、迷惑を感じていなかった住民の39%が効果があったと回答した。
地域ねこ活動に対しては良いことであると93%の住民が回答し、41%の住民は地域ねこ活動に協力していきたいと回答しており、現在は、実施場所をさらに広げて独自に活動を継続している。